

★神戸の催し物ご案内

7月

△音楽▽

★添田孝ヒアノリサイタル

3日(火) 7時 神戸文化ホール
A・一〇〇〇円 B・一五〇〇円

★井上直幸ヒアノリサイタル

4日(水) 7時 神戸文化ホール
A・一〇〇〇円 B・一五〇〇円 C・二〇〇〇円

★永井龍雲



永井 龍雲

6日(金) 6時半 芦屋ナホー
ル A・一五〇〇円 B・一三〇〇円

★神戸学生マンドリン連盟演奏会

6日(金) 6時 神戸文化ホール
A・一〇〇〇円 B・一五〇〇円

★田端義夫

7日(土) ①3時 ②6時 神戸
国際会館 S・三〇〇〇円 A・
二五〇〇円 B・二〇〇〇円

★高山巖

7日(土) 6時半 神戸文化ホ
ール 一八〇〇円

★ハイファイセット



ハイファイ・セット

10日(火) 7時 神戸国際会館
S・二八〇〇円 A・二五〇〇円
B・二〇〇〇円

★石井好子・戸川昌子・水森亜土・
堀桐子

11日(水) 6時半 神戸国際会館
S・三〇〇〇円 A・二五〇〇円

★第31回神戸中央合唱団音楽会

14日(土) 6時半 神戸文化大
ホール 一〇〇〇円

★倉田澄子チェロリサイタル

14日(土) 7時 県民小劇場
一五〇〇円

★シルクロード音楽の旅

15日(日) 2時 明石市民会館
民音/二〇〇〇円

★加山雄三

16日(月) 6時半 神戸国際会
館 S・四〇〇〇円 A・三〇〇〇
円 B・二〇〇〇円 C・一〇
〇〇円

★都はるみ

17日(火) 6時半 神戸国際会館
民音・二五〇〇円

★岩城宏之/大フィル

18日(水) 6時半 神戸国際会館
民音・三〇〇〇円

★内山洋とクール・ファイブ

21日(土) ①1時 ②5時半
神戸国際会館 A・二五〇〇円
B・二〇〇〇円

★中村絃子・海野雄雄・堤剛

26日(木) 7時 西宮市民会館
S・二九〇〇円 A・二六〇〇円
B・二〇〇〇円

★大阪フィル定期演奏会

26日(木) 7時 大阪フェスティ
バルホール 指揮/朝比奈隆
独唱/坂本綾 藤川賀代子・林誠
三室亮

★矢沢永吉

29日(金) 6時半 姫路市文化セ
ンター 二八〇〇円

★働く者の演劇教室公演「向風」

10日(火) 11時(水) 6時半
県民小劇場 九〇〇円

★民雲「雨」

18日(水) ①20時(金) 6時15分
21日(土) ①1時半 ②6時15分
22日(日) 1時半 神戸文化ホ
ール 神戸労演/一九〇〇円

★民音夏の子供劇場・ミュージカル
「らくだの天使ベッキ」

28日(土) ①12時 ②3時

神戸文化ホール 九〇〇円

△その他▽

★アバ・ザ・ムービー
6日(金) 6時半 神戸文化小ホ
ール 前売・一〇〇〇円 当日・
一三〇〇円

★市民映画劇場

「誰が為に鐘はなる」
10日(火) 12時(木) 6時半
14日(土) 2時 神戸文化小ホ
ール 四九九円

★天守物語



坂東玉三郎

20日(金) 6時半 21日(土) ①
2時 ②6時半 22日(日) 12時
半 S・四〇〇〇円 S・三〇
〇〇円 A・二〇〇〇円 B・一
五〇〇円

★第四回神戸能楽教室

21日(土) 1時半 淡川神社能楽
殿 三〇〇〇円(8/18、9/1
三回 通し券・八〇〇〇円)

★洋舞家協会合同公演

25日(水) 6時 神戸文化大ホ
ール 八〇〇円

★上月倫子バレエスクール発表会

28日(土) 4時 神戸文化大ホ
ール 一〇〇〇円

★映画会「ガキ大将行進曲」他

29日(日) ①10時 ②2時半
3時 神戸文化大ホール 前売・
五〇〇円 当日・六〇〇円

★レニングラード・バレエ

「ジゼル」



「ジゼル」

31日(火) 6時半 神戸文化大ホ
ール S・七〇〇〇円 A・六〇
〇〇円 B・五〇〇〇円 C・四
〇〇円 学生・二〇〇〇円

●愛読者招待席

神戸っ子読者を左記の催物にご招
待致します

★内山田洋とクール・ファイブ

7月21日(土) ①1時 ②5時半
神戸国際会館

★第四回神戸能楽教室・第一日目



「安達原」

7月12日(土) 1時半

淡川神社能楽殿

出演/吉井順一、藤井徳三ほか
ご希望の方は葉書に住所・氏名・
年令・職業を明記の上、神戸っ子
編集室「クール・ファイブ招待」
「能楽教室招待」の係まで

●愛読者優待席

神戸っ子読者を左記のステージを
割引優待致します

★レニングラード・バレエ

「ジゼル」
7月31日(火) 6時半 神戸文化
大ホール

S・七〇〇〇円 A・六〇〇〇円
B・五〇〇〇円 C・四〇〇〇円
をそれぞれ割引

★ハンガリー少年少女合唱団

8月3日(金) 6時半 神戸文化
大ホール

A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円
C・一八〇〇円をそれぞれ割引

★第16回あじさい音楽会

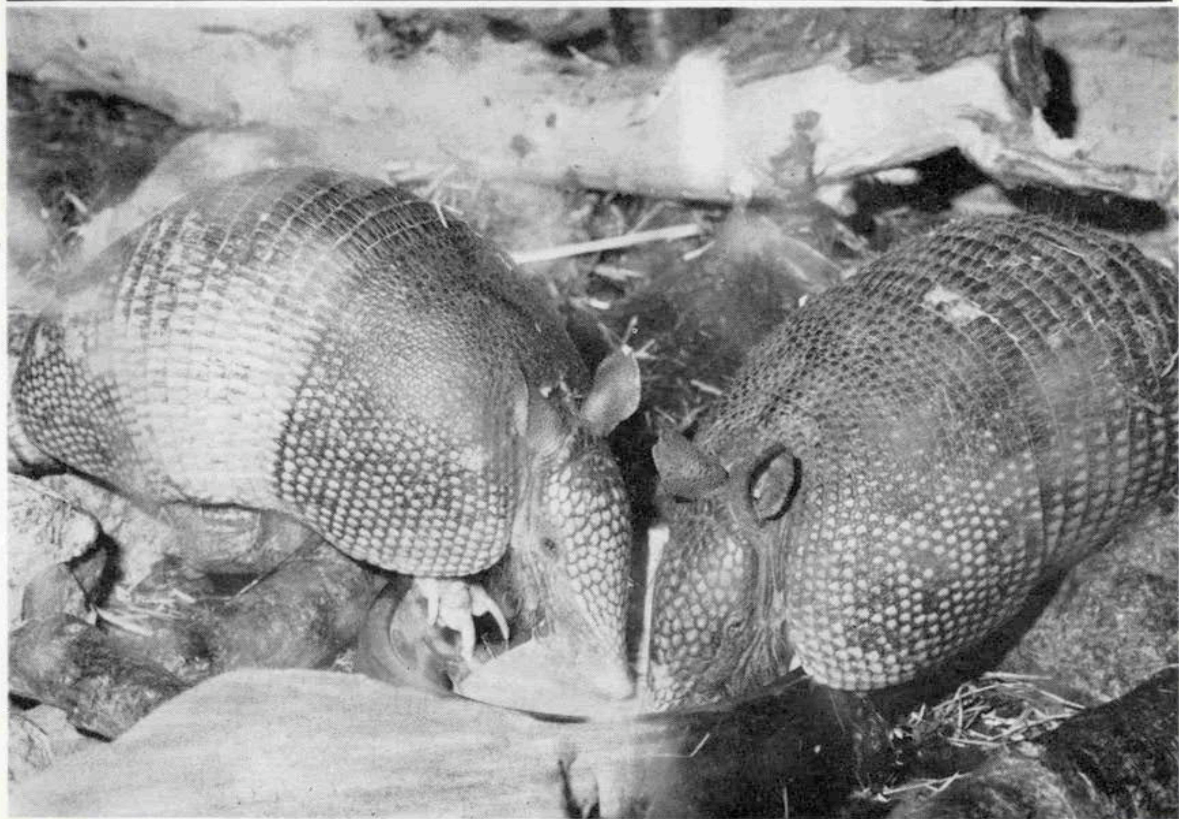
ジャン・ビエール・ランバル
9月21日(金) 7時 神戸文化ホ
ール

特別出演/チャンパロ・小林道夫
A・三〇〇〇円 B・二五〇〇円
をそれぞれ割引

ご希望の方は電話か葉書で神戸っ
子編集室・優待係(川崎)まで



世界初！太陽舎の主たち〈Ⅱ〉

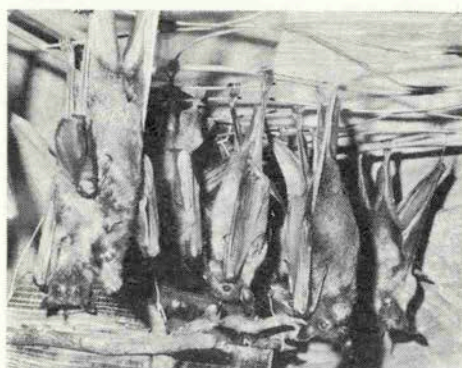


およそ三〇年前馬糞やゾウの糞を敷きつめその上にムシロを重ね、その発酵熱を利用した床暖房、格好よくいえば馬糞式フローヒーヒーティングを實際に作って、ニシキヘビやワニを越冬させたことがある。

そして、石炭ストーブ時代から石油ストーブ、ガス暖房、さらに赤外線暖房が導入され、木造爬虫舎から、鉄筋ブロック、強化ガラス張り爬虫舎が新設されたのが二十年前。

冬の太陽直射を強化ガラス越しに最大限受けることによって、ワニやヘビの飼育舎が温められる。天窓は、当時開発途上のプラスチック製採光窓も導入した。さらに年間八カ月は室内飼育される爬虫類に、紫外線問題を考慮、毎年六月～九月末までは、裏側にオープン飼育場を設け、ニシキヘビ三、ワニ五、ゾウガメ二、オオトカゲ五などを太陽直射下、土の運動場で飼育するという、二シーズン飼育式爬虫舎を考案した当時の園長は二代目山本鎮郎園長だった。

さらに本年四月二十日総工費二億五千万を投入、省エネルギー時代に対応する太陽舎がはなばなくデビニュー



オシッコするときにはちゃんと反対にぶらさがります——オオコウモリ



くくりお目々のカワユイ——スローロリス



人工的な夜をつくって夜行性動物をゆっくり見れます——これはガラコ

したこと、前回に記述したとおり。旧舎屋は太陽直射を観覧ガラス面に受けることで少しでも熱を受けようという方式だったため、光の角度によって、ハレーションを起こし、室内が見えにくいという最大の難点があった。だが、このほど新設された太陽舎は、飼育ケージを全て室内に内蔵。まあいうなれば、水族館方式である。背面の熱帯植物ゾーンからの採光と、スポットライトによって、ワニやヘビはパーと鮮やかな明るさで、非常に見やすくなっている。

だが、と、いうことは逆に観覧通路が、やや暗くなっている訳だ。それでなくても、ワニやヘビということばを耳にしただけでも、身の毛が……というみなさま方のこと、館内に一歩踏み入れた瞬間、パーと吹きおろしてくるエアードアの風圧で、はっと身をひきしめ、そして、強化ガラスを透してせまってくる、ワニやオオトカゲ、そしてニシキヘビと次々早まる足をおさえ、人の流れに動いては止まり、また次のケージへと太陽舎の中ほどまで進んできたら急にヒト留の中に入りこんでしまった。

【洞窟式夜行性動物舎】

擬岩の出来ばえに暗さが加わるからだろうか、ニシキヘビを見たあと、次の夜行性ゾーンへの通路でどなたもがいったん停滞なさるのである。ここより「夜行性動物舎」と表示板のある横から、巨大な洞窟通路になっているが、明るさをさへさえるため、その洞窟がS字に曲りくねっているの、なおのこと、ヒヤリとさせ、闇の世界への効果を十分あげている。やつとくぐり抜け、うす暗い通路が広がり、その闇の中にうっすらと赤い光に浮かんで見えるガラスケージがずらりと続く。

【フルーツが主食のオオコウモリ】

うわー、でっかいコウモリ、それがまあ、鈴なりにぶら下っているじゃありませんか。暗闇に青白く光る眼に、つい吸血コウモリを連想させ、どなたの肝もヒヤリとさせるにちがいない。何せ体長約二十五センチ、ちょうど折りたたみがさ位、それが十七頭、ずらりと逆吊りのまま固まり、じーっと静まっているでなく、その逆さ吊りのままで何やと争い、遊んでいる風だ。

夏の夕暮れに舞う体長六センチ位の小さなキクガシラコウモリが食虫性であることはご存知のとおり。だが、この巨大なオオコウモリの食性が、なんとまあ、植物性食。特に果物が主食。バナナ、リンゴ、ミカン、むしサツマイモである。しかもぶら下ったまま逆さで食べるものだから、大半のエサを地上に落してしまうという、少々手のかかる彼等である。

ところで、逆さに食べて、さて、排出物はどうなるんでしょうか。それが、まあ、なんと、顔を持ちあげ、ひよいと半回転、頭が上になったと思っていると、下になったお尻からビュッと小水がとんだ。次にさらっとしたウンコも落ちた。なるほどね、やっぱり飛ぶための翼を汚さず、「有事」に備えているんだと思えてならない。

【まさに録画のスローモーション、ロリス一家】

さて、そのお隣りが、眼ぱちちり、夜行動物の代表スローロリスが五頭、設けた木の枝を音もなく落ちることもなく、わたり歩いている。道化ザル、ノロマザル、と

いう別名を頂戴しているだけあって、その愛きようある動きに、ここでまた足止めを誘われてしまう。インドから東南アジアの森林に住み、早寝、早起きの完全な夜行性しかも樹上性だから滅多と地上に降りてこない。他のキンカジュウやガラゴが、到着の翌日には平気で採食しはじめたが、このおどけた彼等は暗闇の住民なんだから、夜などの心配は先ず要らないと、たかを喰っていたら、なんとまあ、憶病そのものもぐりこんで巣箱から全員が、顔を見せはじめるのに一カ月も要した。もちろん原猿類だから、これでもおサル仲間、耳に次いで手足をじっくり見て頂きたい。小さいながらもヒトの手指に似ており、その果物を握り持つ手指のツメもまさに人類と同じである。

さて、続いて、お待たせ致しました。なんといいましょうか全身をヨロイで包みこみ、しかもまるで戦場に向かおうとする騎士のような、この奇妙な動物。

【これが、アルマジロ】

南アメリカに住む彼等もまた夜行性が強く、陽が沈むと、生まれ変わったように動き出し、エサ場に寄り集まってくる。この丈夫な防具にさすがのコヨーテも歯がたたぬと見え、大いの場合見逃してしまうという。それもそのはず、彼らは危いと見えたら、決して戦わない。さっと水に飛びこみ、難をのがれたあと、敵の立ち去るのを待ち、再び周辺の田畑に出没しては、強力な手の爪で、土を掘り回って、ミミズ、ヘビ、トカゲ、カタツムリ、などを好食する食虫性である。

だからといって虫ばかりを常食に飼育すること至難なこと、そこで、馬肉のミンチにトマトジュース、生卵、リンゴをそろりとミキシング。そうしたひき肉流動食を歯のないクチ先と長い舌を使って、するすると舐めるようにして食べる姿、毎日三時半頃の餌時に見る機会にめぐりあわれたら、じっくりその食性を知って頂きたいのである。

★神戸の集いから

★ヤング日本酒ファンの集い

若い男性ばかりが集まっていたのかと思ったら、4割は女性という「ヤング日本酒ファン」の集い。

兵庫県清酒青年協議会が初めて「若もの」に日本酒を」と元町の風月堂ホールでアビールするパーティを5月1日に開いた。



兵庫県清酒青年協議会のメンバーが集まって

落語家の笑福亭松葉と小鶴の司会で「日本酒の飲み方いろいろ」を岩本俊彦さんが、「お酒に関する何でも質問コーナー」では、榊晴夫、鄭正秀、辰馬寛男、山路久治郎さんらが回答者になって、若者たちの日本酒への素朴な質問に応えた。約150名の参加者は、冷やして飲む4合mlの各社の原酒に舌鼓打ちながら、新し

い時代に合わせたこの冷酒に気軽に親しんだよう。兵庫県にある酒造会社の社長二世たち75名が考えだしたヤングアタックだ。

★メチャメチャオモシロイまこちゃんの人形銀婚式

「ほんまに神戸っ子はパーティが好きやなあ。遊ぶのん上手やなあ」(ピコのひとつごと) 5月12日(土)6時から生田神社会館4Fで開かれた竹村まこと舞台生活25年記念の、ピコとマコの人形銀婚式は愉快だった。花柳五三輔チームの神撫太鼓に続いて大僧正の福田さんと小池さんによる銀婚セレモニーに、ピコはびつくり。25年の舞台人になさわしく司会も、小崎くにと、小山乃里子、西澤謙さんとバトンを渡す豪華版。中井一夫元市長の乾杯の音



横山ホットブラザーズの面々と賑やかな人形銀婚式の竹村まことさん。

頭で約二〇〇名の先輩、友人、弟子達が銀婚式を祝う。横山ホットブラザーズの音楽ショー、人形二体と三人で唄う三重奏をまこちゃんが初演、フィナーレはサンパで会場は大円舞と相成った。

★ブルックボンドの奥様のついで第1回

紅茶のブルックボンドが、神戸市内のミセスを対象にティーサロンを定期的に開くことになった。講師の先生をお招きしてお話をきいて、あと食事と紅茶を楽しむ味わう会。

第1回目は5月22日北野町のビストロ・ドゥ・リヨンで神戸女学院大学の小関三平先生のお話で開かれ



講演とティータイムのミセスのサロンです

た。お話のテーマは「翔んでる女に駄目男」と、どうも男性形無し。集まった30人のミセスたち大喜びでありました。

♥小泉パーティご案内

小泉パーティは結婚を希望する男女にお見合や愛好会によって健全なご交際のお手伝いをいたします。身元の確かなことは良縁の第一条件です。身元の確かな方々の会員制の集いです。

・入会金 10,000円・年会費 10,000円

<小泉パーティ夏のハイキング>

日時/7月29日(日)午前8時

集合場所/阪急六甲

コース/阪急六甲→六甲ケーブル下→アイロード→前が辻→シュラインロード→神鉄六甲登山口(雨具の用意を忘れないように)

参加希望者は前日までにお申込み下さい

小泉パーティのご案内・入会書類ご希望の方は事務局 〒650 生田区北野町3丁目10-2 渡島マンション105号 ☎078-242-0333 小泉正巳 お問い合わせ、ご連絡は午前中又は夜間に。

次回は7月12日に北野クラブで、バリ祭前夜祭と題して湯井一葉さんのシャッソンとブリュネフフランス総領事によるフランスの女のお話を楽しむ。この会の予告は順次神戸新聞で予告されていく。

・六甲山100コース

〈その17〉

二軒茶屋―牛ノ背―再度公園―仙人谷―教育植物園

緑の園の花と蝶

武衛 晴雄
〈神戸市市民局長〉



教育植物園にて筆者

地図をひろげてください。有馬街道を平野から北へたどっていくと「二軒茶屋」がある。その少し手前に洞川という川が東から流れてくる。この洞川にそって四〇〇メートルほどはいると「牛ノ背」への曲り角に出る。ここからいきなり急坂である。

きのうまでの曇り空がすっかり晴れあがり、五月の空は澄んでいる。急坂をのぼっていくと途中に「下里」と書いた郵便受けがある。その下に「ごくろうさま」とある。住む人の人柄がしのばれる。山道から見える庭にミカゲ石の重そうなライオンがうずくまっている。ハイカラな顔のライオンを珍しげにながめていると、突然家の中から女性の声がかかった。この山の中の一軒家の主人は、工芸家の下里陽（ハル）さんであった。コースを歩きはじめてばかりだったが、ちよっとおじやます。庭の奥の樹木の下にシイタケの原木が並んでいる。チャボ

が数十羽。毎日卵を二十個ほど生むそうだ。御主人が少し小さな卵ですよと見せて下さる。下里さんはゆで卵を持っていきますかといって下さる。そしてうまいお茶を御馳走になった。ウグイスが近くで鳴いた。思わず腰を落ちつけてしまったが、さあ出発。

新緑が太陽の光をうけてキラキラと輝く。濃い緑、淡い緑に包まれた小路を進む。もうこの辺までくると、急坂は終って楽な山道である。振りかえると左手遠くに鈴蘭台団地が緑の間からちらっと見える。足もとには山つじが質素な姿で咲いている。

谷間を下ったところに新しいお堂があった。弘法大師のお堂である。「弘法大師修法之地」の文字がある。石の宝篋（ほうきょう）印塔の下を谷の清冽な水が流れている。つめたい。この場所はすぐ修法が原公園につながっていた。広っぱをぬけて、外人墓地入口前を左へ折れる。急斜面の露岩がある。鉄のくさがりが打ちつけてあり、登るときにつかまるようになっていた。ここを注意深く降りる。せせらぎを聞きながら谷川の流れに沿った道を行くと、まもなく人造湖に出る。水没した樹木の頭が水面にあらわれている。青空と新緑に水が加わると、もう申し分ない大自然。大きく深呼吸すれば心が洗われる。

そのあたり一帯に形はつつじの花とそっくりだが、大きさが二センチくらいの小型なのが、やはりつつじと同じ樹型の枝に、たくさん咲いている。白とピンクだ。その名はコバノミツバツジとアケボノコバノミツバツ

ツジ。

きょうの最終地点である教育植物園はそこからすぐだ。園長の林中元さんは、植物を食う昆虫は、植物からいわせれば害虫であるが、植物も昆虫も同居しているのが自然だというお考えであり、この植物園では昆虫の飼育も試みている。

植物園の中央にある広場からみると、野菜をつくるビニールハウスのようなものがある。鉄の骨組みの上にビニールではなくて、カンレイシヤをおおったハウスである。その中に蝶がいる。ジャコウアゲハが二匹孵化していた。中に植えられた木の枝に、ジャコウアゲハの蛹がいくつもついている。江戸時代の人はこの蛹をお菊と呼んだ。ちょうど人が手を後手にしばられた姿に似ている。播州皿屋敷のお菊が死んで生まれかわったとされて

いる。

春の女神といわれる早春の蝶、ギフチョウは、黒と黄のダンダラ模様、赤・青・ミカン色の班紋をもった美しい蝶。宅地開発のために食草がなくなり、その数が激減した。この植物園には住んでいなかったが、幼虫の食草カンアオイは所々に生きていた。植物園ではカンアオイを増やす努力のうちに、幼虫を放った。それから数年になる。石垣の上にあったカンアオイの葉のうらに、三〇個ほどの真珠の光沢をもった卵が発見できた。苦心がみのつて最近ギフチョウが住みついたのである。まもなくフ化した幼虫は、六月には蛹となり、来年の春まで長い眠りにつくのである。

園内を歩いてみると、キジがガサガサと姿を見せた。キベリハムシの黄色い五ミリくらいの幼虫が、ビナンカズラの新芽を食べて育っている。成虫は見たことがないが、テントウムシよりも何倍も大きくて、丸くて、サファイアのような色の、美しい甲虫だそう。非常に珍しく熱帯からやってきた昆虫である。鳥原水源池でも発見されたことがあるという。教育植物園ではいまその生活史の観察にとめている。

きょう歩いたコースは、とくに鈴蘭台周辺に住む方々に、きわめて手軽に、変化にとんだ自然を満喫できるということでおすすめた。

濃い緑、淡い緑に包まれた山道がつづく（円内はお菊虫と呼ばれたジャコウアゲハの蛹）



△その18▽

阪急六甲―伯母山―天狗塚―記念碑台―一が谷道―六甲

眺望絶佳の天狗塚

丸屋 信雄△六甲山郵便局主事▽

・六甲山100コース



六甲山郵便局前に筆者

立の女子大学の建設が進む伯母の山の高台は、住宅碑や水道塔は今いずこ、の感ひとしおである。

さて長峰山への急な斜面は、適当に踏み跡もあり、整備された登り道もある。しかし、小灌木とカヤの繁みはいずれも背丈をこえるほど。そのわりには陽をさえぎる陰もない。ザックの底から折たたみ傘を出して陽差しをさける。あえぎあえぎ、休み休みの登りに、「口が達者になるほどに足腰が弱くなりますよ」などと、言わずもがなのことをつい口にする。

日曜・祝日の阪急六甲駅前には、本格派(?)登山者あり、家族連れ、グループのハイキング派あり、色とりどりの華やかな賑わいである。最近の六甲山はドライブウェイも完備し、山上の交通事故など痛ましい話もしばしば。そこで車の通る道をできるだけさけて、長峰山から西六甲、通称電線山道という一が谷道を下って出発点へ戻るコースをとることにした。駅前で編集部の方と待ち合わせ早速出発。

歩きながらコースの打ち合わせやら、企画についてのお話を聞きながら、長峰山へむかう。

『伯母の山住宅碑は標高三〇〇メートル、碑の横に水道があるので水道管を満たしておくこと。このコースは水に乏しくはけい登りにのどがかわくのでそのつもりで。』と、古いガイドブックの記事。水の乏しさとはげしい登りは今も変わらないが、マンションや分譲住宅、私

『昭和三十一年五月瀬戸内海国立公園六甲山地区に編入されたのを機に、兵庫県観光連盟で地名を統一し地理調査所(注)の地図を訂正する』ということで、地図上の長峰山は、頂上から更に尾根を、五〇〇メートルほどたどった通称天狗塚にある。長峰山の最高点天狗塚は、数個の大岩の重なる展望台。深い袖谷、その向うの摩耶山、背後の西六甲の山なみ、眼下は神戸市街から大阪湾と眺望はこの上なく、肌をなせる風も心地よい。

尾根づたいに袖谷峠へ。途中から六甲山自然の家、OLコースへエスケープする。今日は編集部直々のお出ましとあらば、大きな顔をして自然の家の敷地をぬける。門を出ると右へ、三国池への山道へ入る。時間的にも、コースからも、行きかうハイカーとの出会いも多くなる。むこうは下り、こちらは登り。コンニチワのあいさつのコールと、団体さんのお通りに、登り道のせいばかりで



眼下に市街地を見下ろしながら天狗塚へと急坂がつつく

なく呼吸は乱れる。道をあけてはハイカーをやりすこすのにへきえきのあげく「上り優先は登山の場合もあてはまります」と、判ったようで判らぬ解説をする。

西六甲ドライブウェイは車と人の波。よく人から「六甲山も開けましたネ」というおたずねに「ええ、信号機もついてます」とお答えすることになっている。特に、春から夏にかけての休日の午後には、記念碑台付近から、表六甲ドライブウェイの料金徴収所まで、車が列をなすことも珍らしくない。

三国池バス停から、三国岩、丁字が辻、ノースロード、シユラインロードと、静かな道をえらんで、六甲山ホテ

ル裏の阪急池に出る。そのまま、山荘の間の小道は記念碑台へ。ホテルの駐車場から道路へ出ると、向いに六甲山郵便局がある。

六甲山郵便局。明治四三年の開局。昭和六年現在地にうつり、昭和十年から六甲山上一帯の郵便物の配達などを行なっている。日曜祝日でも、正午まで営業しているから、ここまで来たら一度は寄ってみたいもの。

六甲山の地名の由来や案内と共に、六甲山につながりのある切手とその解説が付された登山記念切手帳に、登山当日の風景入通信日付印を押してもらえばよい記念になる。

郵便局前の交番横から、記念碑台に登り、県立自然保護センターに寄るのも一興。

記念碑台下の、六甲山唯一の信号機のある記念碑台交差点から、お山の学校で親しまれている六甲山小学校前を通って、日本最古の六甲山ゴルフ場へ。クラブハウスの横の道を下ると一寸した展望台がある。

ケーブル山上駅前の広場から、再び静かな、一が谷道を下ると、一日の行程の終りも近い。

筆者(注) 建設省地理調査所のこと。現在は国土地理院といわれている。



□関西学院創立90周年記念座談会

関学、北摂・三田に新学部が 「国際学部」と「芸術学部」を新設

□出席者

久山 康 △関西学院院长▽

室谷 山水 △関西学院同窓会神戸支部長▽

増田 栄 △兵庫県信用保証協会理事長▽

藤田 久司 △関西学院同窓会神戸支部幹事長▽

★新しい時代への「全人教育」を

今年、関西学院は創立90周年を迎えました。10年後の100周年へ向けて新しい構想が計画されていると聞いていますが、恒例の七月七日開学同窓会神戸支部総会を前に、卒業生の関心が集まっている開学の今後についてのお話しをお願いします。

久山 日本の国際性はこの数年間目をみはるほど急進展しています。例えば貿易に於いても汎太平洋諸国ではカナダに次いで輸出入第2位で、日本の新しい時代の到来を感じますね。島国から抜け出て世界の中で生きていくというよう

な。
関西学院は南メソジスト教会のアメリカ人教師ランバス先生によ

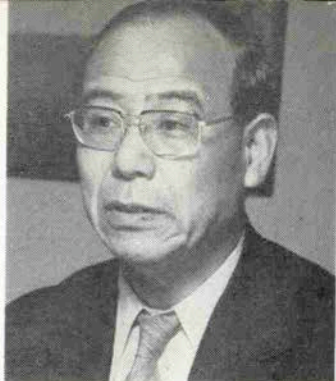
って創立され、世界とつながりをもった学校であり、また国際的に通じるモラルを持ち得る国際人の養成、というものが関西学院の始めからの使命だと思うのです。

第四代院長であったベーツ先生が70周年を迎えた折にお越しになり「自分の関西学院での方針はまちがっていたよ。あまりに文化面に力を注ぎ、学院がつくられた本当の意味を失なっていた……」と話された。ベーツ先生のご指摘通り文化的に発展するのはひとつの課題だけれど、根本に流れる「国際性」の思想を回復しないといけない時期にきているんですね。宣教師で始まり大学として発展して現在に至っている。そして「第三の創造期」である100年目に向けてもう一度総合した形になることが大

きな課題だと感じているのです

が。
室谷 意欲的で前向きな構想をお持ちで、また着実にその方向に進んでいるように感じます。今お話にでた飛躍する日本の中で国際化時代に対応する大学、あるいは中高というもののあり方、これは学内外問わず関係者はともに真剣に考えなければいけないでしょう。

増田 国際化時代に対応できるような人間づくりをめざす「全人教育」というものが強く押し出されていて大いに期待しています。去る二月五日、千刈セミナーハウスで久山院長、坂井知事、神戸新聞社光田社長が、クレセント誌の座談会で話されているのを私も拝聴しましたが、院長と知事の教育の考え方そのものが一致していて嬉

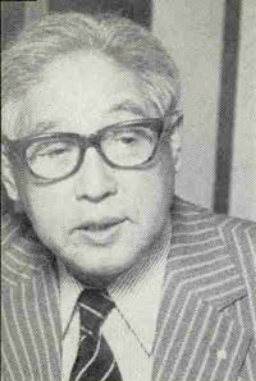


久山 康さん

しく感じました。ベーツ院長のお話が出ましたので思い出を申し上げますと、ベーツ先生が関学70周年に來られた時、当時県庁で阪本知事の秘書課長をしていた私は、この機会に天皇陛下に単独謁見していただくため先生の案内役として宮中にご一緒しました。ベーツ先生は今も健康でご活躍とうかがい嬉しく思っているのですが。

藤田 来る七月七日の総会では、院長にビジョンを語っていただけると皆、待ってるわけなんです。卒業してしまおうと学院の事情その他を知るチャンスが少なくなり、特に四月二十九日の洋上パーティのとき気付いたことですが、「母校通信」等を見て一勢に申し込みがあり、いかに知らなかったか、

増田 栄さん



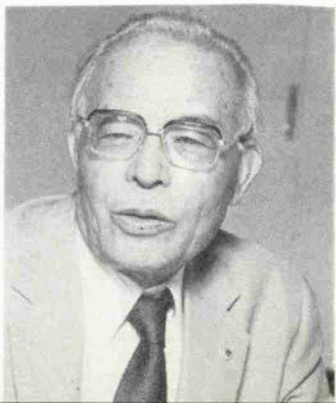
あとでわかった次第です。ですから今度の総会ではぜひとも院長にお話しを願ってPRしていただきたく思います。母校を愛する気持は変わらないわけですから、どうかよろしく願います。

久山 現在、学院では約二万七千坪校地が足らなくて、上ヶ原で二万坪の土地といえますと莫大な額になり、費用の点に於てももつと安い土地を探すことに反対はなくまた若い人の間にも新しい時代に對して関西学院も備えなければいけない、という気持が広がってきました。去る一月に開いた学院理事会で、兵庫県が開発している三田市の北摂ニュータウン内に男女共学の中、高等部と新設学部校地を県の方から譲っていただく方針を決定し、そのことについて異論はなくなりました。

増田 我々も側面から応援させていただきます。「全人教育」への第一歩である「第二の校地」を得ることに關して知事は「可能な限り協力する」と話されており、県庁に三十六年間勤めました私にとって有難い言葉でした。

室谷 できるだけ学院の意図するところを同窓生にも理解してもらい協力を願いたいですね。

久山 最近神戸で知事のご理解をいただき、同窓生の皆さんも今まで結集していなかった力が結集し



室谷 山水さん

て何か生まれてくるような感を持つて力強く地盤が固まりつつあることに感心させられてるんです。

★新設「国際学部」と「芸術学部」

久山 100周年までに三田市内へ移転し、新しい学部をつくりたいと思っています。まず、国際化時代に相応しい人材を養成する「国際学部」先程申しましたように日本の貿易がこれだけ盛んになり、これからはただ売るだけでなくそれぞれの国のことを知らなきゃいけない。むこうの民族を理解しなくてはいけないわけですね。だからどうしても民族学が必要になってくるんです。今、関学は国立民族学博物館（梅棹忠夫館長）と提携しているのですが、今後もっと交流

藤田 久司さん



を深くしたいですね。

それと語学が大事です。中高で英語を学び大学でもう一か国語を学ぶくらいにしないと間に合わないかなのでしよう。日本人の学生の興味はやはり欧米です。大学で欧米の国を学び、大学院で汎太平洋の国のことを勉強する。同時にそれらの国々と提携して国際交流の中で外国の学生のフイーリングを取り入れる必要がありますね。

もうひとつ新設したいのは「芸術学部」です。アメリカでは芸術学部がとても盛んなんですね。この前、南メソジスト大学を訪問しましたが、芸術学部をもっており絵画・音楽・演劇……あらゆるものが盛んですよ。

室谷 ああ大学の美術館をご覧になったと思いますが、りっぱな美術品を大学で保存し、公開しているんですね。スペインの絵画が中心でした。

久山 今関学は神学部が中心ですけど、神学部を受け入れる人はわりに少ない。しかし芸術で例えば音楽や絵画の中に昔からキリスト教は存在し、そして日本人にキリスト教という宗教とは関係なく芸術として受け入れられてるわけです。やはり宗教と触れることの一番広い面は芸術です。芸術を通して芸術の源を探るんです。そんな意味から芸術学部をつくり、宗

教的な伝統の強い外国の学校と交流をもったり、また市民参加という広い分野にまで押し進めていきたいですね。

増田 ゼひと実現させてください。可能だとすれば兵庫県に相応しい学部ですね。

藤田 神戸だけなんです、大都市の中で芸術学部のある大学がひとつもないのは、ファッション都市をめざしているのにおかしな話です。ファッションの源流は芸術に負うところが多いですし、そんな意味で地域にとっても本場に欲しいですね。

久山 その通りです。市民の自覚してないような精神の基本になるものが芸術に残ってるわけです。

室谷 惜しくも亡くなりましたが、卒業生に現代美術の英雄吉原治良さんがいます。インドの国際ビエンナーレ展で大賞を受賞し、日本のモダン・アートの元祖といっている人で、作品もだいぶ残っていますし関学で保存していただくと素晴らしいと思いますね。

★望まれる原田の森の関学復活

室谷 関学発祥の地、原田の森のチャペル（現王子図書館）を関学のルーツ、あるいはシンボルとして残そうという気運が同窓生の間で高まっているのですが。

久山 神戸市の方では、あの土地

と同面積の用地があれば譲り受けはそう難しくないと一いつてくれています。そして将来も市民の場として活用できればいいですね。

増田 昭和二年に関学中等部に入学しましてわずかの期間でしたが原田の森で生活しました。広い校庭、りっぱな講堂、樹木繁る静かな環境；思い出として残っています。現王子図書館は発祥の地に相応しく今後の記念にいつまでも残しておきたい、と神戸支部が提唱して、何とか神戸市から払い下げていただき学院が永久保存して、セミナーや夏期大学、市民に開放して市民大学などに利用してもらいたいですね。同窓の皆さんが一致協力して努力すればいい結果に結びつくような気がしますね。

藤田 卒業生だけで九千人。数が多いので各ポイントでの基盤づくりに重点を置いて、うまく連携しながら結果させていきたいです。

室谷 昨年の会でも話にできましたが、校風であるスマートさが裏目に出て結束力が弱いんですよ。発祥の地の名に恥じないように、意気新たに我々もつながりをもち我が関西学院の今後より一層の発展を期待したいと思います。

久山 中高が新しく変ると雰囲気も変わるでしょうし新学部も創設され、学生の質も向上していますから関学はまだ伸びますよ。

祝 関西学院創立90周年

<p>高 嶋 平 介 高嶋酒類食品醸取締役社長 神戸市東灘区御影塚町3丁目9番 電話 (078) 841-0551 昭和10年・高等商業部卒業</p>	<p>鈴 木 治 雄 太陽鉱工株式会社取締役社長 神戸市生田区京町72 (クレセントビル6階) 電話 (078) 331-3281 昭和16年・法文学部卒業</p>	<p>村 上 忠 雄 かねてつ食品株式会社取締役社長 神戸市兵庫区神明町1番28号 電話 (078) 651-7373 (代) 昭和26年・経済学部卒業</p>	<p>横 山 吉 雄 横山倉庫株式会社取締役社長 神戸市葺合区磯上通8丁目1-5 電話 (078) 231-5311 (代) 昭和26年・経済学部卒業</p>
<p>田 村 厚 田 村 商 会 神戸市生田区京町72 (クレセントビル3階) 電話 (078) 391-0881 (代) 昭和29年・経済学部卒業</p>			<p>光 葉 貞 男 ゴンチャロフ製菓代表取締役 神戸市灘区船寺通4丁目2-8 電話 (078) 881-1188 (代) 昭和29年・経済学部卒業</p>
<p>大 成 順 三 ふみや呉服店専務取締役 神戸市生田区三宮町2-35 電話 (078) 391-1837 昭和29年・文学部卒業</p>			<p>王 柏 林 (有) クレセント・インターナショナル代表取締役 神戸市生田区下山手通3-8-9 電話 (078) 391-4441 (代) 昭和29年・経済学部卒業</p>
<p>藤 田 久 司 藤田甲南堂印刷所代表取締役 神戸市東灘区住吉宮町1-6-3 電話 (078) 811-3001 昭和31年・関学大学法学部卒業</p>	<p>田 中 教 義 西村株式会社常務取締役 神戸市葺合区磯辺通1丁目1-38 (穀検ビル2階) 電話 (078) 251-6131 昭和33年・法学部卒業</p>	<p>真 田 修 柳 鳥 光 神戸市須磨区行幸町1丁目1-39 電話 (078) 731-5855 昭和39年・法学部卒業</p>	<p>永 江 一 仁 民社党兵庫県連副委員長 神戸市葺合区布引町4-2 電話 (078) 231-5831 昭和40年・経済学部卒業</p>
<p>室 谷 山 水 室谷商事株式会社取締役社長 大正12年・中学部卒業 室 谷 龍 室谷商事株式会社常務取締役 昭和37年・経済学部卒業 神戸市生田区北長狭通4-1 (英和ビル) 電話 (078) 331-0881 (代)</p>	<p>神 戸 合 同 会 計 事 務 所 神戸市兵庫区三川口町3-6-10 新三川口ビル2階</p> <p>税理士 西 村 公 義 電話 (078) 577-8600 (代) 昭和39年・大学商学部卒業 昭和41年・大学院修士卒業</p> <p>税理士 林 達 三 電話 (078) 577-6000 (代) 昭和42年・大学商学部卒業 昭和44年・大学院修士卒業</p> <p>税理士 森 田 隆 志 電話 (078) 575-7800 昭和43年・商学部卒業</p>		

(順不同)

●土井芳子勲四等瑞宝章叙勲

喜びいっぱいのお祝いの集い



(上右) カーネーションで飾られた土井さんの人形の前で (上左) お祝いにかけつけた方々と一緒に
(下右) 宮崎神戸市長、光田神戸新聞社長と共に (下左) 和やかなパーティ会場

婦人団体協議会の土井芳子会長が、この春の叙勲に勲四等瑞宝章を受けられ、そのお祝いの集いが5月26日(土)午後1時30分から午後5時まで婦人会館、大会議室で賑やかに開催された。

会場は壇上に土井芳子さんの和装の人形が立てられて、その人形にカーネーションの花をさして、模様をつくろうという趣向で出席者がつぎつぎに花をさしていた。

この試みのためもあった、会場は打ちとけた雰囲気にあふれ和やかな集いになった。

宮崎市長もニコニコ顔で「神戸の婦人団体協議会には、皆さまもよくご存知のとおり、7億円もの市債を買っていただいたり、いろいろ市の行政のために大きな力を与えていただき、有難く思っています。今回のご授賞を心からお喜びしている一人です。今後とも健康に留意されて、九十才、百才までもお力添えをいただきたい」とユーモアをまじえながら挨拶。

土井さんは「この授賞は婦人団体協議会みんなで貰ったようなもの」と控え目だが、やはりこれからの時代に必要なのは婦人の活力ですとばかり元気一杯、会員のお祝の握手せめや記念写真に肩を寄せあって喜びを分かちあっていた。

話題のひろば

<II>

ブラジルのタベ

●日伯親善「リオデジャネイロ近代美術館」修復協賛
ネオ・トロピカル協会が開いた



上は右より三木前首相／三笠宮ご夫妻／大平首相夫人他来賓主賓席。下右は日本ネオ・トロピカル協会森理事長のあいさつと美代子会長。下中上は駐日ブラジル大使・下中下はミセス・ニオマール・モニース・ソドレー・ピンテクールさんの感謝のスピーチ。下左は衣裳も美しくわが「神戸っ子サンバチーム」の勢揃い。

昨年七月、不慮の大火により焼失したブラジルの「リオ・デ・ジャネイロ近代美術館」のコレクションの再建のために「芸術に国境はなし」と、音楽と舞踊を通じての親睦会を計る「日本ネオ・トロピカル協会」(〒142東京都品川区旗の台六ノ四ノ一 電話〇三・七八二一九四八森美代子会長)が、五月二十五日夜、修復運動のためのチャリティパーティー「ブラジルのタベ」を、三笠宮崇仁親王殿下ご夫妻御臨席のもとに、なごやかに開いた。リオより参加した本場のサンパバンドのリズムに乗って酒井広さんが開場の挨拶。ブラジル料理とビンガを楽しむディナーの後、森喬一理事長と森美代子会長のスピーチ。駐日ブラジル大使ロナルド・コスタ閣下と、ミセス・ニオマール・モニース・ソドレー・ピンテクール(近代美術館の創設者で名誉総裁・復興事業責任者の一人)さんが感謝の意を心こめて話され、日伯文化親善の素晴らしい夜会になった。大平首相夫人、前三木総理を初め来賓も揃って千人近い熱気にあふれた会場に、われら——「神戸っ子サンバチーム」の美女九人がサンバをリードし花を添えた。

ハリオ近代美術館美術品購入基金口座開設V
(社)日本ブラジル中央会(〒106東京都港区新橋一ノ十七) 新幸ビル内 電話〇三・(五〇四)三八六六三 菱銀行 普通 〇四〇・四二五三八五〇、富士銀行 普通 一三〇・一八四四〇七八

車イスヨーロッパの旅

橋本 明／社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▽



ヨーロッパ福祉の旅(S.54.3.26)

この春、車イスに乗った身障者たちの一行三十七人のグループがヨーロッパへ飛び立っていった。ハンディをもつ男女が十四人で、そのうち五人は一級の重度障害者。その他、ボランティア、看護婦、ヘルパー、肉親など、ほとんどがヨーロッパへの旅は初めての人ばかり。十一日間で五カ国を訪問し、福祉施設はフランスとオランダで二カ所を訪れた。

まず訪問したのがフランスの「フオイアー・チエシャールホーム」。これはロンドンに本部をもつアーノルド・チエシャール財団の支援で地元の人たちによって二年前に建設された地上二階、地下一階の身障者の家。十八才以上の身障者四〇名がここで生活をしているが二十才代が多く、夫婦も一組いる。一人が一部屋をもち、施設というよりも、自分たちの家という感じが強い。プライバシーがよく守られ、居住者本位につくられており、ホーム全体が自由な雰囲気には溢れている。一カ月に一人につき約三〇万円の費用が国から出るそう。日本からの初めてのお客さまとあって広い食堂で楽しい交歓会が開かれた。その三日後に訪れたのがオランダの南、アルンヘムの郊外にある「ヘット・ドルプ」(オランダ語で村という意味)ここは四百人の身障者が生活する一大居住区で十三年前に完成し、当時世界中の注目を集め、私も完成して間もない頃に訪れたことがある。その後十年経ってこの施設及びそこで生活をしている人たちがどのように変わっているか、おみやげ話を聞くのが楽しみであった。

ところが今度訪問した人たちの話を聞いてみると、施設の中にあまり活気がなく、年配者が多かったせいか老人ホームのような感じがして、あまりいい印象を受けなかったという人もいた。家庭復帰や社会へ出て自立することの難しい重度障害者の収容施設というのは、一度入所するとなかなか退所ができないために、年月を経るとどうしても高令者が多くなり、活気がなくなってくるのはやむを得ないことかもしれない。それでも今回自分の目でヨーロッパの施設を見た人たちはさまざまな新鮮な驚きを感じたらしい。

参加したある身障者の女性は「ヨーロッパに行つてぜひこの眼で日本にない新しい施設を見たかった。今は両親が元気なので私の世話をしてくれますが、親が年をとった時のことを考えるとぜひこういう自立の家がほしいんです。ただ、チェシャーホームは部屋があまりにもキッチンと片づきすぎていて本当の生活の臭いがしなかった。生きがいのあるホームをつくりたいです」と、帰国報告会で感想をのべた。また母親は「私たち親が死んだあとのことを考えると、ぜひともこんな身障者の家がほしいんです」と涙をうかべながら印象を語った。

同じく参加した身障の男性は「多くの人たちと友だち



上 フランスのチェシャーホームで（中央がカタリーナ・トーマイさん）下 オランダの身障者の村「ヘット・ドルブ」にて

になれたことが一番大きな収穫だった。ヨーロッパの人たちは、身障者も同じ人間だから困っていれば助け合おうのが当たり前や、ということをごく自然に受けとめている。身障者の一人一人が、自分は一人の人間なんや、という自覚をもつて多くの人たちによびかけていくことが大切やと思いました」とヨーロッパ旅行の印象をのべた。

ところでこの「ヨーロッパ車イスの旅」のキツカケをつくったのはノルウェー人のカタリーナ・トーマイさんだ。彼女はロンドンに本部を置くレオナルド・チェシャー財団のスタッフで、日本にも身障者の自立のためのチェシャーホームを設立するため一年前に来日し、兵庫県心身障害児福祉協会と手を組んでホーム建設のために日本中を東奔西走し、やつと建設の段階にまでこぎつけた。

チェシャー財団は一九四八年に身障者の自立の家「チェシャーホーム」をロンドン郊外に初めて建設して以来、今日までに英国内九十カ所、世界の三十二カ国に百五十カ所を建設し、毎年十二カ所ずつ各地に建設をつづけている。この財団の考え方は、身障者を患者としてみるのではなく、あくまで普通の人間としてみることで、施設ではなく、家（ホーム）をつくることにある。ホームの建設にはもっぱら精神的な援助をし、それぞれの国の人たちが、その国の人たちのためにホームを建設していく手助けをしつづけている。

「チェシャーホームは「家庭」であり、このホームというものは、その中に住んでいる人と国のように素晴らしいものでなければなりません。大切なことは、身障者が何を失ったかということよりも、何ができるかということです。人間としての可能性を見だし、自分自身の可能性をより実り豊かに発展させてほしい」とトーマイさんは日本人に訴えつづけて、次のチェシャーホームを韓国に建設するため、六月の中頃日本を離れていった。トーマイさんが残していったチェシャー財団の大きな哲学は、日本に建設される身障者の自立の家の中に近い将来かならず実現されていくことであらう。

7/6(金) 7/15(日)

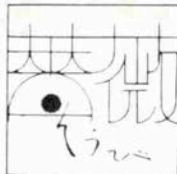
79サンロイヤルサマーフェスティバル

鮮やかな神戸の夏



- アダルトな個性の…… *Mascul* 伊太利屋
- ニューヨークファッションの旗手… *Oscar de la Renta*
- ビッグサイズも(9~15号)……… *King PINO RE*

BOUTIQUE



サンロイヤルKOBÉ店
三宮さんプラザ7F
☎332-2350

岡本店
阪急岡本駅アローム2F
☎452-5409

岡本PARTII店
岡本阪急ビル
☎453-6629
鈴蘭台店
神鉄鈴蘭台駅前
☎591-2814

たかはしもう笑品集

ニユース漫画〈神戸新聞「笑点」を
必死のパッチで描き続けて七、〇〇〇回(二〇年)

内容

「最新カラーマンガ」(9頁)

「笑点20年」(36頁)「似顔絵一〇〇人」(54頁)

「ニユースマンガ家の一日」(4頁)

二、五〇〇円
(送料二〇〇円)

お申込みは「たかはしもう出版会」(月刊神戸っ子編集部内)

送金方法/太陽神戸銀行三宮センタービル支店普通預金二一五二七〇四「たかはしもう出版会」または月刊神戸っ子あて現金送金してください。

5月例会

生田の森の物語

福田義文生田神社宮司



全員で記念写真 生田神社会館 2F

三宮のど真中、ネオンサインきらびやかな夜の繁華街の中央に位置する生田神社の歴史は、遠く神功皇后の御代に溯るといわれています。そして現在のこの場所に9世紀以来……つまり1000年の間生田の森の神様は、神戸が村から区へ、そして市へと発展していく日々をながめてなさったわけ。

さて5月例会は、「お坊さんシリーズ第2弾」で福田宮司をお招きして、生田神社会館の美味しいお弁当（写真をご覧ください）と、特別にかつおのたたきを宮司に御馳走になりつつ開かれた題して「生田の森の物語」。初詣に始まり、夏まつり、恒例になった夜

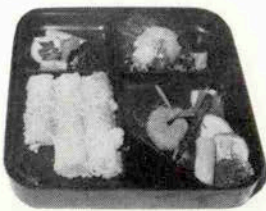
行館の小屋掛け芝居、そして秋まつりと、三宮の中心地に位置しているせいか生田神社の行事は、神戸っ子たちに季節を教えてくれました。

例えば去年、続いて2回も事故にあった鳥居のはなし、度々の洪水でも生田の森は浸水

しなかったというはなし、そして戦時中の炊き出しのことなど、愉快地に宮司はお話下さいました。（流石1000年の歴史を持つ鷹揚さ）たまには皆さんも参りにいらしたら？

季節のものを取り合わせた松花堂弁当。ちまきの笹の香りが5月らしくて美味でありました。

これが松花堂弁当
季節のちまきも入って
とても美味でした。



●会員ニュース

市野木江充子さん
2つのファッションショー

①KDCのショー

5月30日大阪の府民労働センターであったKDC。秦砂丘子さんのお弟子さんたちが、力作を並べる毎年のこのショーに今年も作品を2点出品されました。

黒のシースルのニット。最近何年か市野木さんの追求してこられたフェミニンなドレス。

②市野木江充子コレクション「一千一秒物語」

6月9日トアロードの外国倶楽部で、稲垣足穂からテーマを取ったコレクション。SFのファンタジックな作品が多く、夢のあるショーになりました。

●第6回KFS総会

7月13日（金）7PMより 4,000円
農業会館10Fレストランブーン

KFSも6年目を迎えました。これを機会に（去年の総会ですでに提案はありましたが）名簿の整理を考えています。会員であるならば、必ずやご出席を。

●8月マンスリーサロン＜エロス＞



細川 董さん

8月6日（月）7PMより
六甲オリエンタルホテル
5,000円
一般の方 6,000円

講師／細川董さん＜哲学者＞
テーマ／H大学哲学夜話

毎年8月がとてもしみ深いという声が多い。今年も涼しい六甲山のてっぺんで、優雅なエロス夜話を。神戸っ子に女体百景を連載して下さいの細川董さんを講師にお招きいたします。哲学者の目による（とても面白おかしい）エロス談義。森羅万象の素は、あるいはエロスなのかも？ 乞うご期待。



KDCのショーより